



起業・継業のためのローカルビジネススクール

篠山イノベーターズスクール

Sasayama Innovators School

2020年度 入学生 募集

5月スタート



みつかる、 つながる、 カタチにできる。

地域の資源を活かした新しいしごと、 農村の未来を創る人のためのスクール

日本の農村には豊かな資源 ―受け継がれてきた自然・歴史・文化・農地など― があります。

今求められているのは、こうした資源を活用した“農村だからこそできる新しいしごと”づくり。

篠山イノベーターズスクールは、皆さんが、夢・仲間・資源を、みつけ、つなげ、カタチにするためのローカルビジネススクール。神戸大学と丹波篠山市が連携して、チャレンジを応援します。



スクールから広がる“地”と“知”

農村での起業・継業には、経営スキルだけでなく、地域社会と確かな関係性を構築していくことも求められます。スクールではあなたが農村で実現したいことやライフスタイルをカタチにするためのセオリー(知識)とノウハウ(技術)とネットワーク(仲間)を、地域全体の“ビジネスエコシステム”を通して提供します。

セオリーは神戸大学を中心とする大学教授などから、ノウハウは様々なタイプの起業家から、ネットワークはコーディネーターが用意する様々な機会から得られます。また、起業の際の専門家の助言、ファンディング、丹波篠山市内でのコワーキングオフィスやインキュベートオフィスなどの橋渡しもいたします。

セオリー

ネットワーク

ノウハウ

ノウハウと姿勢を学ぶ

CBL (Community Based Learning)

1 科目必修 (各科目全6回)

農村ビジネス実践者のもと、現場(コミュニティ)での体験を通してノウハウや姿勢を学びます。

※CBLは、最大8名の少人数制。1つのみ選択可能です。

宿・旅行業ビジネスをつくろう

土曜 朝 宿泊あり

講師が運営するゲストハウスと旅行業を例に、宿の開業から改善までを学びます。また、実際に日帰りツアーを作成し、自分でツアーの企画実施もできるようになることを目指します。



講師 工忠 衣里子
里山ゲストハウス
クチュール
MATA TABI

学べること

- 農村での宿開業のポイント、民泊ビジネス最新動向
- 許可なしでできる地域資源を活用したツアーのつくり方
- 開業後のPDCAのまわし方

開講日

6/6, 6/20, 7/4から1泊, 7/18, 8/29

シゴトを活かした地域の拠点づくり

土曜 朝/昼 宿泊あり

ローカルコワーキングの現状と今後の展開について、講師が経営するコワーキングスペースの現状を題材に理解を深め、地域における拠点づくりのノウハウと人が集まる仕組みを学びます。



講師 谷口 悠一
コバコ株式会社
代表取締役

学べること

- 拠点づくりのビジネスモデルとマーケティング
- 個人事業と拠点運営の連動方法
- ローカルコワーキングスペース設立までの手順

開講日

8/29, 9/5, 9/12から1泊, 9/19, 10/3

地域エネルギー会社をつくろう

土曜 朝/昼

エネルギー会社をつくる、という考えは、これまでありえない発想でした。しかし、エネルギーが民主化された今、各地で勃興しています。丹波篠山で具体的な動きをつくっていきましょう。



講師 井筒 耕平
株式会社sonraku
代表取締役

学べること

- 地域でエネルギー事業を行うことの意義や価値
- 地域エネルギー事業の立ち上げとマネタイズ
- 地域エネルギー事業が抱える課題と未来

開講日

7/11(2コマ連続), 9/12, 9/19, 10/17, 10/24

里地里山創造のコミュニティビジネス

土曜 朝

里山、田畑、旧宿場町がコンパクトにまとまった古市エリアは、宿場町の面影を残すエリアです。そのエリアをフィールドに、地域と連動しながら新たなコミュニティビジネスを生み出します。



講師 吉良 佳晃
吉良有機農園 代表

学べること

- 農村の現実を知り、ビジネスシーズを知る。
- 地域循環を知り、新しい循環型ビジネスを考える
- 里地里山の活用によるコミュニティづくりの方法

開講日

5/30, 6/13, 6/27(2コマ連続), 7/11, 8/1

農村ビジネスのセオリーを学ぶ

セミナー

2 科目必修、最大6科目選択可能 (各科目全6回)

ビジネスに必要な、基礎的な知識やスキルを、大学教授などから学びます。

農村ビジネス基礎知識

農村イノベーション

土曜 朝/昼

学べること

- 農業農村と地域づくりの最前線の動向
- イノベーションの創出の理論と技術
- 地域資源の活用と農村でのイノベーションの要点

開講日

5/16, 5/23, 6/6(2コマ連続)
6/20(2コマ連続)



講師 中塚 雅也
神戸大学大学院
農学研究科
准教授

食と農の流通とマーケティング

金曜 夜/土曜 昼

学べること

- 流通の役割と仕組み
- マーケティング理論の基礎
- 食と農のマーケティングの考え方

開講日

9/18, 9/25, 10/17(2コマ連続)
10/24(2コマ連続)



講師 岸上 光克
和歌山大学
食農総合研究所
教授

地域の成り立ちと構造(空間と歴史)

金曜 夜

学べること

- 村社会の成り立ちと地方自治制の展開
- 地域の空間特性の読み解き方
- 歴史文化遺産と景観の保全活用の方性



講師 奥村 弘
神戸大学大学院
人文学研究科 教授



講師 横山 宜致
公財 丹波の森研究所
専門研究員
丹波篠山市まちづくり部
景観室長

開講日

12/4, 12/11, 1/8, 1/22, 2/5, 2/19

農村ビジネス基礎スキル

ビジネスモデルデザイン [必修]

土曜 昼

学べること

- あなただけのビジネスモデルのデザインと進化プロセス
- 顧客から学び、価値をうみ出すプロセス
- 事業継続のためのカスタマージャーニーデザイン

開講日

7/18, 8/22, 9/5(各日2コマ連続)



講師 岡田 明穂
関西dラボ 代表理事
ビジネスモデルイノ
ベーション協会 理事

起業のためのファイナンス

日曜 昼

学べること

- 利益を生み出す構造の理解
- 利益を生み出すためのリスク分析
- 成長ステージ別のリスクと資金調達手段の関連性の理解

開講日

11/1, 11/15, 12/20(各日2コマ連続)



講師 忽那 憲治
神戸大学大学院
経営学研究科 教授/
科学技術イノベーション
研究科 副研究科長

コピーライティングとデザイン

土曜 朝/昼

学べること

- 伝えたい相手に、伝わる言葉で伝えるための心構えやスキル
- 伝わるデザインの基礎
- デザイナーや専門家との連携のコツ

開講日

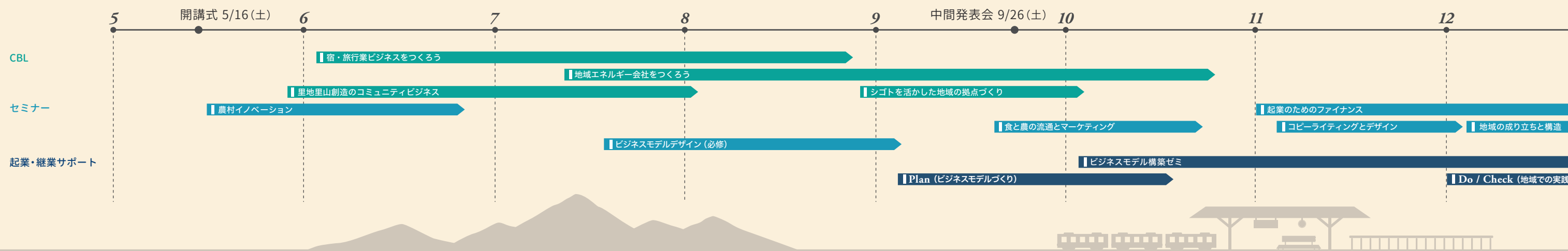
11/7, 11/28, 12/5(各日2コマ連続)



講師 二階堂 薫
コピーライター
文案業

開講スケジュール

※カリキュラム修了には、CBL 1 科目、セミナー 2 科目の単位取得、「ビジネスプラン」の提出が必要です。



3 実現に向けてPDCAを伴走する 起業・継業サポート

自由選択

ビジネスモデルづくりから地域での実践、離陸までを、実践者や専門家とともに伴走型で支援します。

多彩なコーディネーターによるサポート



篠山イノベーターズ
スクール事務局長
谷川 智穂



コーディネーター
河口 英樹



コーディネーター
鎌田 悠子



コーディネーター
森田 忠



コーディネーター
瀬戸 大喜



ビジネスモデルづくり支援

仲間やコーディネーター、金融機関のスタッフ、経営の専門家らと交え、ゼミ形式で事業計画・収支計画などのビジネスプランをブラッシュアップします。

- ビジネスモデル構築ゼミ (10/3, 12/12, 1/16)
- スタッフへの個別相談随時受付



地域での実践支援

一人一人と丁寧にコミュニケーションし、課題や状況に応じたサポートを行います。地域での実践を通してビジネスモデルの更なるブラッシュアップを目指します。

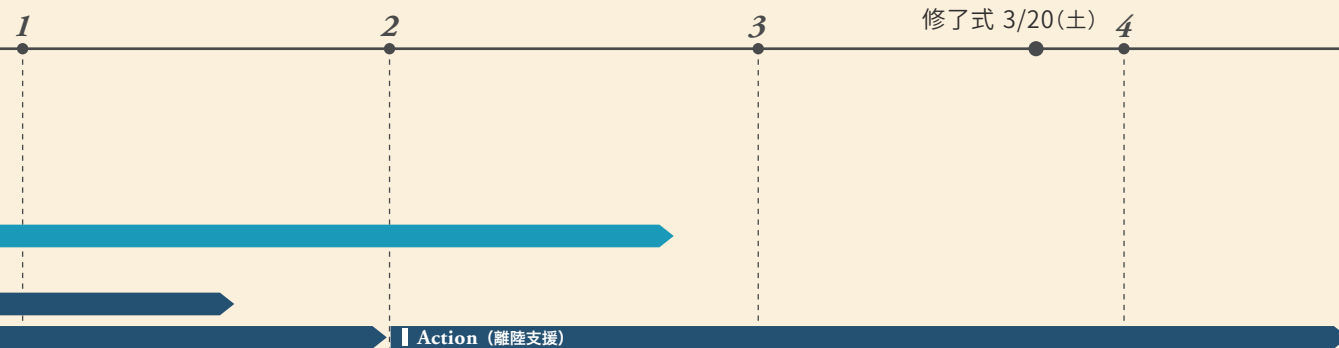
- 資源・人とのネットワーク
- 個別のアクション、事業推進の支援



離陸支援

丹波篠山市の政策や創業支援の専門家、地域金融機関、地域の自治組織などと連携し、空き場を活用した仕事場づくりや、移住定住、開業資金調達なども仲介支援します。

- オフィスや住居などの物件情報、マッチング支援
 - 資金調達の支援
 - 法務・税務等専門家連携
 - 地域おこし協力隊への推薦*
- *募集がある年のみ、修了生対象



受講生の声



将来の移住に向けて
夫婦で学びを共有

井上 真一・真由 (会社員)

「何か自分たちのしたいことに根ざした生活ができないか」と漠然と悩んでいた時にスクールに会いました。夫婦で学びや体験をシェアし、スクールの仲間に刺激を受けながら、ビジネスプランを徐々に具体化することができました。



自分のスキル×農村地域の素材
新たなビジネスへ

酒井 大輔 (フォトグラファー)

自身のスキルを活かし、丹波篠山で元気が喜びを与えられる事をしたいと考え、入校しました。農村地域でのビジネスプランのつくりかたを学んだ事は勿論、同じベクトルで熱量高めメンバーに出会えた事は、本当に財産となりました。



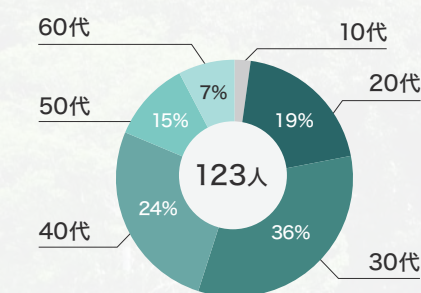
仲間との出会いが
夢への新たな一歩へ

林 港 (主婦)

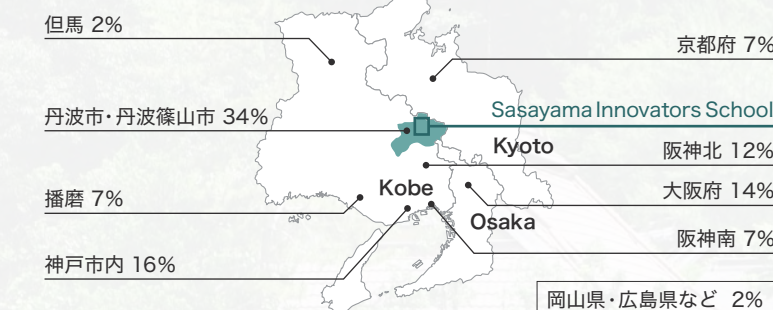
食を通して地域と関わりたいと考えていました。ビジネスモデルについて議論する中で、共に協力しあえる仲間に出会えました。学びだけでなく、人と繋がる場であることを実感しています。カフェ開業の夢への具体的な一歩を踏み出せました。

受講生のプロフィール

年代別分布



居住地の分布



事業拡大
10人

起業・継業
25人

これまでの
受講生
計123人

起業準備

スクール生123名中25名(うち市内16名)が起業・継業10名(うち市内7名)が事業拡大をしています。



旧小学校の教室を活用したカフェ
原田久美子



地域のコミュニティスペースで
カレー店
東千世子



農業を活かした引きこもり支援
山本季代子



温泉周辺地を活用したキャンプ場
大谷昌義

教室は、JR篠山口駅直結 神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ。

農村イノベーションラボは、農村地域の課題解決と発展のため、現場のイノベーション、地域に根ざした教育・研究に取り組む拠点です。

丹波篠山市には、神戸大学農学部の前身である兵庫農科大学が1966年までありました。多くの学生や研究者が学び、地域に密着した研究をおこなってきた歴史を振り返り、再構築する形で神戸大学と丹波篠山市は地域連携活動を開始しました。その活動は約10年におよび、これまで多様な研究、教育、実践が展開されてきました。そうした中、丹波篠山市の地域創生の核として設立されたのが、神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボです。地域創造研究、地域人材育成、地域情報共有を柱にして、農村の未来を描くような、創造的・実践的な活動をおこなっています。幅広く活発な交流のなかで、アイデアとチャレンジあふれる場となることを目指しています。



電車を通える、ローカルビジネススクール

募集人数	最大 30名	募集期間	2020年2月3日(月)～3月23日(月)
応募方法	「篠山イノベーターズスクール」ホームページのエントリーフォームまたはFAXより ※FAXをご希望の方はお問い合わせください。エントリーシートをお送りします。		
学 費	88,000円 (税込価格・振込手数料別) (CBL(必須1科目)、セミナー(最大6科目)、起業・継業サポート(自由選択)、を全て含んだ1年間のプログラム) ※教材費やフィールドワークのための交通費等が別途かかる場合がございます。大学生(10代、20代に限る)については、学費助成制度もございます。詳細はHPまたはお問い合わせください。		

[お申し込みから開講までの流れ] ※原則、書類をもとに選考(場合により面談)させていただきます。



[お問い合わせ先]



篠山イノベーターズスクール 事務局

〒669-2212 兵庫県丹波篠山市大沢165-3
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ

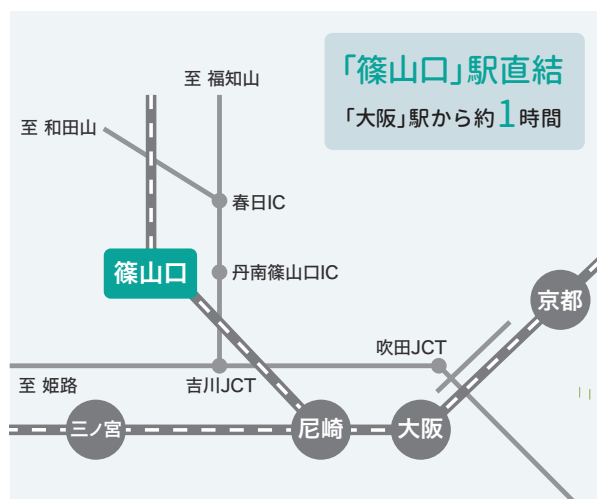
Tel&Fax 079-506-6628

Mail info@sasayamalab.jp

HP <https://school.sasayamalab.jp>

[電 車] JR福知山線(JR宝塚線)篠山口駅下車すぐ
JR大阪駅から約1時間

[自動車] 舞鶴若狹自動車道 丹南篠山口ICから約5分
大阪・神戸から約1時間 / 福知山・滝野社ICから約30分



【主 催】丹波篠山市 【運 営】一般社団法人 EKILAB. 【企画協力】神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ
【後 援】西日本旅客鉄道株式会社 福知山支社